資 料 5

○　令和３年度の課題及び今後の方向性に対する令和４年度の取り組み

（１）　帯広の明日を拓く力の育成

①　ふるさと教育の推進

主な取り組み	令和３年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和４年度の取組み
地域資源を活用したふるさと理解の促進	○郷土への愛着や誇りを育むため、引き続き「おびひろ市民学」による学びを進めるほか、地域資源や特色を生かしたスポーツ体験や、動物、科学等に触れる機会を提供する	○「おびひろ市民学」において、十勝・帯広の歴史や文化、自然や産業等について小中義務教育学校９年間を通した学びの機会を提供したほか、関係団体の新規協力を拡充、地域の動物をテーマとした講座の実施（おび Zoo 寺子屋エゾモモンガ編、小学生のための動物園塾、特別講演会「とかちの野生動物の今～大学と動物園ができること～」の実施）
食を通じたふるさと理解の促進	○地域の食や産業への理解促進を目的に、地場産食材を活用した「ふるさと給食」の提供 ○「おびひろ市民学」における「帯広らしい食育プログラム」を実施し、食を通じたふるさと理解を進める	○ふるさと給食の献立リニューアルや、学校給食の魅力等を伝える PR 動画を作成 ○栄養教諭や食育指導専門員による、「帯広らしい食育プログラム」を実施
地域社会に参画する意識の醸成	○各団体等と連携し、感染症対策を実施しながら、体験活動やリーダー研修を行い、養成事業の充実を図る ○計画的な金銭管理の必要性や契約の仕組み等の知識を身に付ける機会を提供するほか、親子防災講座を実施し、ボランティアや防災活動への参加等への意識を高める	○各団体等と連携し、感染対策を考慮した行事内容への変更により、体験活動やリーダー研修を実施 ○租税教室において租税の役割や公共施設の整備について理解を深めるとともに、親子防災講座を実施
環境教育の推進	○学校での環境教育を推進し、子どもたちが地域の自然環境について学び・考える機会を設けるほか、帯広の自然や学校以外の教育施設を活用した体験機会を設ける	○課題解決に当たる主体性を育むため、実社会との結びつきを意識した教育を進めたほか、「帯広らしい環境教育プログラム集」を発行し、ホームページに掲載 ○児童会館や百年記念館での展示・出前講座等により環境について考え学ぶ機会を提供

②　職業観の育成

主な取り組み	令和３年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和４年度の取組み
学校におけるキャリア教育の推進	○「おび学ファイル（ポートフォリオ）」を活用し、新たな学習や生活への意欲の育成に取り組めるよう、指導・助言を継続する ○積極的にキャリア教育に取り組んでいる学校の事例について、情報共有を進める	○「おび学ファイル（ポートフォリオ）」を９年間継続して活用し、系統的な学びの充実による社会的・職業的自立に向けたキャリア意識の向上を継続 ○キャリア教育に取り組んでいる学校の事例について、学校間連携が十分に図ることができるよう指導・助言を実施
職業体験機会の充実	○おびひろキッズタウンについては、感染症対策を含めた運営方法や開催時期等の協議を行いながら実施する ○図書館においては、継続的にインターンシップや実習の受け入れ依頼があることから、職業体験機会を提供する ○百年記念館においては、地域資料を収集する博物館としての特色を活かしたインターンシップを継続し、地域に根差した職業体験機会を提供する ○動物園においては、飼育体験等の事業におけるアンケートでの満足度が高いことから、今後も内容の充実に向けて取り組む	○おびひろキッズタウンは感染症拡大の影響により中止 ○図書館においては、非対面型・来館対面型両方の事業の実施により、職業体験の機会を提供 ○百年記念館においては、インターンシップを継続し、地域に根差した職業体験の機会を提供 ○動物園での体験型講座の実施（１日飼育係、小学生の１日飼育係、親子で飼育体験）インターンシップ、キャリア教育（講話）、職業調べへの協力

③　情報教育の推進

主な取り組み	令和３年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和４年度の取組み
情報活用能力の育成	○ICT を活用したスマート農業等、地元企業と連携し、ICT の活用に関する教育を進める	○一人一台端末を使用した ICT の活用に関する学習の実施
情報モラルの育成	○SNS の正しい利用やインターネットの安全利用に関する啓発活動に取り組み、情報モラルの育成に取り組む	○関係機関との連携による講演会の開催や、販売店への立入調査などを実施
プログラミング教育の推進	○プログラミング教育を行う単元について、各学校が教育課程へ位置付け、モデル授業や校内実技研修を開催する	○一人一台端末を活用し、発達の段階に応じたモデル授業や校内研修の開催

④　国際理解教育の推進

主な取り組み	令和３年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和４年度の取組み
外国語を用いたコミュニケーション能力の育成	○外国語によるコミュニケーション能力向上のため、小学校における外国語専科教員の配置や外国語指導講師を活用した授業に引き続き取り組む ○外国語指導講師等との触れ合いを通して、外国語による児童生徒の実践的・日常的コミュニケーション能力の向上を図る	○小学校段階から外国語に親しみ､｢読む・書く・聞く・話す」技能をバランスよく身に付けるため、各学年段階のつながりを意識した系統的な指導を実施 ○発達の段階に応じた指導計画を作成し、外国語指導講師や国際交流員等を効果的に活用し、体験的なコミュニケーション活動を実施
多様な国の伝統･文化に関する理解の促進	○外国語指導講師による外国語のサポート学習に取り組むほか、体験的な活動を重視した国際理解教育の実践を進める	○世界の民族の多様な言語や文化の違いに気づくことのほか、それぞれの生活・習慣・価値観を理解し協調しながら他国を尊重する姿勢を育むために、外国語指導講師や市の国際交流員との交流等を通じて、多様な国の伝統・文化に触れる機会を提供

⑤　南商業高等学校における教育の推進

主な取り組み	令和３年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和４年度の取組み
商業教育の充実	○商業に関する実践的な知識・技術の定着と目標を持った学習を通じて、実践力を高めたほか、多様な進路に対応した教育課程に取り組む ○感染症の状況に応じて安全に交流できる時期を見定め、マディソン市派遣研修実行委員会等と連携して取り組む	○全国商業実務検定の１級を３種目以上取得した生徒の割合が 82.5%と全道の商業高等学校のなかで最多 ○マディソン市派遣研修は感染症拡大により中止
地域経済に貢献する人材の育成	○外部講師による講習会の開催のほか、進路指導や各種検定試験合格に向けた学習支援等により即戦力となる人材育成の充実に取り組む	○外部講師によるマナー講習会の実施や、インターンシップや先輩訪問の実施
地域社会との連携･協働による教育の推進	○コミュニティ・スクールから学校運営に対する意見をいただき、教育活動について今後も改善を図る	○学校運営協議会の開催

地域とつながる活動の推進	○学校開放講座については、実施手法や内容見直しを進めるほか、感染症の状況に応じて安全にボランティア活動に参加できる時期を見定めつつ、主催者等と連携して取り組む	○学校開放講座、学校全体での生徒によるボランティア活動は感染症拡大により中止

（２）　変化する社会に挑戦し、たくましく生きる力の育成

⑥　学びを生かす力の育成

主な取り組み	令和３年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和４年度の取組み
学校における授業の工夫・改善	○個別最適な学びと協動的な学びの一体的な充実に向けて、一人一台端末を活用した授業を通じ、「子ども」が主体となる授業実践を進める	○課題提示や考えの共有、振り返りの場面において、一人一台端末を活用した授業の実施
学習活動の支援	○一人一台端末で活用できる教材作りに取り組むほか、オンラインを活用した学びの保障の充実について検討する ○「ぶっくーる便」については、計画的な入替により子どもたちにとって魅力的な図書を提供する	○Chromebook と親和性の高いアプリケーションの開発したほか、常時ダウンロード可能な小中学生向け教材のホームページへの掲載 ○令和４年度の「ぶっくーる便」は、計画的な図書の入替により、705 件（前年比 115 件増）と利用件数が増加
教育課程の工夫・改善	○目標の実現に必要な教育の内容等を横断的な視点で組み立てるカリキュラム・マネジメントの充実を進める	○市内全小中義務教育学校の適切な教育課程の編成と学習指導の改善に資するために「教育課程編成の手引き」を作成
学力の分析・検証	○学力分析・検証の精度を更に高めるために、より検査母数の多い学力調査を採用し、分析や検証方法を刷新し、学校に還元する	○標準学力調査を利用し、カテゴリー別正答率・目標値・平均正答率の３つのデータから子どもたちの学力の傾向を分析を受けて指導方法の改善のための手立てについて検討し、学校に還元

体験的・問題解決的学習の推進	○図書館や児童会館では、各種の学習機会を提供し、オンラインの活用等による実施方法の検討を進める	○図書館では、帯広畜産大学と連携し、夏休み、冬休みに自由研究のヒントとなる課題解決型講座を開催 児童会館では、プラネタリウムや科学展示室、宿泊学習での科学実験学習や親子科学実験教室、工作教室を開催し、科学や自然を学ぶ体験機会を提供

⑦　豊かな人間性と創造性の育成

主な取り組み	令和３年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和４年度の取組み
道徳教育の充実	○道徳科の授業改善や子どもたちの道徳性を育てる取り組みを進める	○校内外における教職員向け研修の実施、他教科との関連や評価の充実等による道徳科を要とした教育活動の展開
読書活動の推進	○電子書籍の利用を通して読書活動の活性化に取り組む ○将来の担い手として、「語り手育成講習会」等により新規ボランティアを養成する	○図書ボランティアによる読み聞かせ活動の実施、朝読書等における電子書籍の活用 ○「語り手育成講習会」における入門編、ステップアップ編の実施
文化芸術活動の推進	○ICT を活用した演劇鑑賞等の良質な文化芸術に触れる機会を提供する ○各学校の学習発表会や文化祭の様子の発信等の取り組みを通し、感染症対策を講じながら子どもたちの情操教育を進める	○子ども向け鑑賞機会提供事業を実施 ○各学校において ICT を活用しながら、より効果的な各学校の学習発表会や文化祭の実施
体験活動の推進	○各種社会教育施設と連携し、魅力ある体験活動を今後も提供する	○児童会館での科学教室・工作教室等の開催 動物園での体験型講座の実施（1 日飼育係、親子で飼育体験）

⑧　健やかな体の育成

主な取り組み	令和３年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和４年度の取組み
体力・運動能力の向上	○子どもたちの体力・運動能力の分析・検証を通し、授業改善を進める	○体力向上推進プロジェクトチームによる研修会の開催及び各学校への派遣指導の実施

安全・安心な学校給食の提供	○地場産食材の導入を進めるほか、適切な栄養バランスを考慮した学校給食の提供により児童生徒の健全な心身の発達を図る ○食物アレルギーに関する正確な情報及び除去食の提供を行い、学校給食における事故防止に取り組む	○安全安心な地元産食材の導入促進 ○食物アレルギーを持つ児童生徒に対してアレルギー除去食（卵、乳）の提供、「給食だより」へのアレルギー情報の表示
正しい「食」への理解の推進	○「食育通信」等の資料の配布や、帯広市食育推進部会による児童生徒と家族が一緒に朝食作りに取り組むイベントを実施する ○図書館では食育月間に合わせて、食をテーマにした映画会・おはなし会を開催する	○「食育通信」の発行 ○食の映画会「お料理帖」の上映、食に関するコラボおはなし会の開催
健康教育・健康保持	○子どもたちが性に関する正しい知識を身に付け、発達の段階に応じた教育を進める ○感染症対策の取り組みを継続し、学びの機会の確保を図る	○生理の貧困問題等についての情報交換等を実施、心身の発達に関して理解を深め、自分や他者の価値観を尊重し相手を思いやる心を醸成できるよう、国や道からの通知等の情報を提供 ○感染症の流行等により、学びの機会が失われないよう、学校生活での感染症対策を実施

⑨　教員の資質・能力の向上

主な取り組み	令和３年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和４年度の取組み
教員の指導力の向上	○学力向上推進プロジェクトチームによる学級経営・授業改善ワンポイント講座の実施を通じて、教員の資質能力や豊かな人間性と社会性の向上に取り組む ○教職員向けの研修については、一人一台端末の活用や今日的な課題を取り上げる等、教職員の技能や指導力向上につながる講座の企画に取り組む	○指導主事による学校教育指導訪問において、管理職や教職員に指導・助言を行ったほか、学力向上推進プロジェクトチームによる授業改善ワンポイント講座を実施 ○ICT の効果的な活用を一層促進するため、夏季・冬季研修講座において、Google 本社から講師を招いた研修の実施や、「おび GIGA 支援員」を各学校に派遣し、巡回支援を実施

教職員の働き方改革の推進	○「帯広市立学校における教職員の働き方改革推進プラン（第２期）」に基づく取り組みを推進する ○教職員の業務効率化のため、令和４年度における校務支援システムの導入を進める ○教職員向けの研修については、感染症の状況を踏まえながら、教職員の負担軽減に向けた体制づくりを進める	○専門スタッフや加配教員等の配置による支援のほか、学校閉庁日の設定による休養日の確保、ＩＣカードを利用した勤怠管理等の継続推進 ○教職員の業務効率化のため校務支援システムを導入 ○校務支援システムの活用の促進や操作の定着を図るため、研修会等を実施

（３）　地域とともに育む教育の推進

⑩　地域との連携・協働の推進

主な取り組み	令和３年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和４年度の取組み
地域における支援体制の充実	○「地域とともにある学校づくり」を進めるため、令和４年度中に全校でコミュニティ・スクールを導入する ○指導主事による取り組み状況に応じた全国の好事例の情報提供に取り組む ○学校と地域との連携した活動や地域コーディネーターの研修等に取り組むほか、こども学校応援地域基金を活用した支援を周知し、ボランティア団体間の連携した活動の拡大を図る	○令和４年１０月をもって、全市立学校でコミュニティ・スクールを導入 ○指導主事による他校の好事例の提供 ○CS 委員や地域コーディネーター等を対象とした研修会を実施（2 回）したほか、こども学校応援地域基金を活用した交付金の交付（10 団体）
子どもの安全対策の充実	○地域ぐるみで見守り活動に取り組むほか、「帯広市子供安全ネットワーク」の周知を進める ○通学路の安全確保については、関係機関と情報の共有を図り、危険個所の合同点検を実施する ○登録者の確保により「子ども 110 番の家」設置個所の拡充を図る	○登下校時の見守り活動の実施や、「帯広市子供安全ネットワーク」を活用した情報発信 ○通学路危険個所の点検と公表 ○登下校時にその身に危険が迫った場合等に逃げ込む「子ども 110 番の家」の設置（996 箇所）
地域主体の体験活動への支援	○子どもの居場所づくり事業は、実施方法や PR 活動を工夫する	○プラザまつりや市内小売店等での PR 活動の実施

⑪　家庭教育への支援

主な取り組み	令和３年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和４年度の取組み
教育相談の充実	○教育相談員体制のさらなる充実と、より有効な教育相談員の活用を図るため、配置日数の調整等の工夫を進める	○家庭訪問相談員や心の教育相談員の配置、配置日数の調整や相談員会議等における研修の実施
家庭教育力向上のための支援	○図書館における絵本セットの内容の充実を進める ○ライフスタイルの変化による児童生徒の食生活の乱れを改善するため、「食育通信」の配布	○図書館では、利用状況により定期的に絵本セットの内容を精査 ○食育通信の配布
ＰＴＡとの連携の促進	○各校のPTAや帯広市PTA連合会等との情報交換を進めるほか、関係団体への行政支援を継続し連携も深める	○帯広市ＰＴＡ連合会へ補助金の支出、後援などによる支援の実施

⑫　学びと育ちをつなぐ学校づくりの推進

主な取り組み	令和３年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和４年度の取組み
学校間の連携の推進	○小中一貫教育の更なる充実に向け、教育課程の見直し及び編成を進める ○幼保・小・中における授業交流や乗り入れ授業を行うとともに、小中教員による部会を設定し、教育実践の交流や教育課題の共有を図る	○「帯広市エリア・ファミリー構想」に基づき、教育課程の見直し及び整備の実施 ○職員間交流を通じた、情報の共有
通学区域の見直しの実施	○小中学校の連携や地域ぐるみの教育を一層推進するため、学校の適正規模の確保に関する取り組み ○通学距離、幹線道路、河川等の地理的条件や地域コミュニティとの整合性、一つの小学校から複数の中学校に分かれる分散進学の解消等に配慮し、通学区域の見直しを進める	○「帯広市立小中学校適正規模の確保等に関する基本計画」に基づき、小規模校における近隣校との交流授業の推進・実施 ○通学区域の見直しの検討

（４）　安全・安心な教育環境の整備

⑬　誰もが安心して学べる教育の推進

主な取り組み	令和３年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和４年度の取組み
いじめ・非行の防止	○いじめの未然防止や就学に対する支援等、誰もが安心して学ぶことができる環境の整備を進めるほか、街頭巡回指導等や非行防止活動に取り組む	○帯広市青少年「いじめ・非行防止標語」事業を実施したほか、地域の指導協力員と街頭巡回指導等を通じた非行防止活動を実施
不登校への対応	○教育相談員の専門性の向上を図る研修の実施や相談体制の充実、関係機関との連携強化を進める	○関係機関との連携および教育相談員の専門性の向上を図る研修の実施
教育機会の確保	○就学や通学に関わる経済的な支援を進める ○スクールバスの安定的な運用のため、車両更新や運転手の確保について検討する ○市内高校の間口を維持・確保するため、各種会議等の機会を通して、情報収集や要望活動を行う	○就学援助費の支給および奨学金の貸与 ○スクールバスの定期的な点検と修繕の実施 ○「公立高等学校配置計画地域別検討協議会」での情報収集
一人ひとりに応じた教育の充実	○教育相談体制の確保と関係機関との連携強化を図るとともに、特別支援学級の継続設置や通級指導教室の開設等により、多様な学びの場の整備を進める ○教職員向けの研修により、LGBT 等や HSC　(Highly Sensitive Child)、ヤングケアラー等の理解促進の取り組みを進める	○感染症対策に取り組みながら教育相談を実施し、一人ひとりの特性や、成長の度合いに応じた適切な就学先を勧奨し、多様な学びの場の整備を進めた ○LGBT　等の当事者を招いた研修の実施

⑭　安全で充実した教育環境の整備

主な取り組み	令和３年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和４年度の取組み
学校施設の整備	○「帯広市学校施設長寿命化計画」に基づき、計画的かつ継続的な修繕を行い、学校施設の長寿命化及び機能・性能の改善に取り組む	○小中義務教育学校においては、ボイラー改修、校舎屋根葺替工事、校内無線 LAN 追加整備、多目的室等への網戸設置、大空学園義務教育学校グラウンド整備 　南商業高等学校においては、エレベーター更新、図書室等網戸設置、多目的ホール排煙オペレーター修繕
学習環境の整備	○小中学校においては、一人一台端末の活用範囲の拡大を進める ○南商業高等学校においては、高度な資格取得のため、第一情報処理室等の情報機器の整備・更新を進める	○授業での一人一台端末の活用を進め、長期休業時での持ち帰りにより、自宅での学習に活用 ○南商業高等学校においては、総合実践室情報処理機器を更新
学校適正規模確保の推進	○児童生徒数及び学級数を推計し、結果について市民へ情報提供する ○学校の小規模化による影響の緩和を図る取り組みを進める ○児童生徒数及び学級数の推計を基に「後期対象校」の選定を実施	○児童生徒数及び学級数、今後の推計値のホームページ上での公開 ○近隣校における交流授業の実施 ○後期対象校の検討

（５）　自ら学びともに支える生涯学習の推進

⑮　学習活動の促進

主な取り組み	令和３年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和４年度の取組み
学習機会や情報の提供	○市民が参加しやすい学習機会を提供するほか、生涯学習情報誌「まなびや」により、情報提供に取り組む ○図書館では、必要な情報を引き出しやすいよう電子化して公開するなどの仕組みづくりの検討を進める ○百年記念館では、博物館ならではの講座の開催、展示の企画に取り組む ○動物園では、アンケートでの満足度が高いことから、今後も内容の充実を図る	○市民大学講座の実施、生涯学習情報誌「まなびや」の発行 ○図書館では、小学校３・４年生社会科副読本「おびひろ」を帯広市電子図書館において電子化 ○博物館講座「史料が語る晩成社の140 年」の開催 ○教育講座（おびＺｏｏ寺子屋等）、体験講座（飼育体験ほか）、Ｚｏｏｍ講座の実施（とかち帯広のエゾリス・サバイバル）やＳＮＳによる情報発信

⑯　学習を通じたまちづくり

主な取り組み	令和３年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和４年度の取組み
自主的な学習活動の支援	○図書館では、ボランティアと情報交換を図りながら相互連携を進め、活動を支援する ○百年記念館では、ボランティア活動を行う人員の充実に向けて取り組む ○動物園では、今後も学生等の活動主体が積極的に活動できるよう支援する ○地域の生涯学習活動では、生涯学習推進委員会等の社会教育団体が地域で行う多様な活動の支援に取り組む	○帯広図書館友の会の記念事業を実施 ○百年記念館では、ボランティア養成講座の実施、既存会員の研修の実施 ○学生のボランティア活動に対する助言等のサポートの実施 ○生涯学習推進委員会によるコミュニティ講座において、地域住民への生涯学習機会や交流機会を提供
地域の人材の育成・活用	○生涯学習指導者登録制度の認知度を高め、情報発信の強化を図り、登録者数の確保に取り組む	○生涯学習指導者登録制度での、指導者登録、地域における生涯学習活動の支援のために情報発信強化

⑰　社会教育施設の整備・管理運営

主な取り組み	令和３年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和４年度の取組み
計画的な施設整備の実施	○「公共施設マネジメント計画」に基づく施設の長寿命化等を通し、必要とされる施設規模や機能維持に長期的な視点で取り組む	○公共マネジメント計画に基づく各館の施設整備の方向性に沿い、適切な点検に基づく各種老朽度合の把握や優先順位を踏まえた修繕、工事を実施 　とかちプラザにおける外壁改修実施設計、汚水ポンプ更新修繕 　帯広市民文化ホールにおける中央監視装置更新、真空遮断器更新 　図書館における中央監視装置修繕、エレベーター仕様変更工事 　児童会館における非常用自家発電設備更新工事 　動物園における園路整備工事の実施、新キリン舎実施設計、馬ふれあい舎実施設計、動物園飼料保管庫冷蔵設備修繕、キリン舎外放飼場柵の改修

適切な管理運営の推進	○とかちプラザでは、指定管理者による適切な管理運営と利用者サービスの向上に取り組む ○図書館では、施設管理のなかで類似的な業務について、集約して管理委託が可能か検討する ○児童会館では、科学展示室の展示やプラネタリウム投影、各種イベントやクラブを開催するほか、学びと遊びの機能の充実に取り組む ○百年記念館では、利便性の向上を図るほか、効果性・効率性にも配慮した管理運営を進める ○動物園では、講座等の学習機会の提供やレクリエーション機能の充実に取り組む	○指定管理者への適切な支援と、安定的運営による、利用者サービスの維持 ○適切な管理運営のため、防災設備の点検に関する委託業務の一元化に向けた見直しを実施 ○科学展示室の展示やプラネタリウム投影、各種イベントやクラブを開催したほか、木育推進事業として、新たな木製遊具を導入し､｢木のおもちゃランド」を開設 ○講座や体験教室など、人数制限を設け開催 ○感染症対策を講じながら一日飼育係やおびＺｏｏ探検隊等の講座のほか、海の日やハロウィンイベントを実施

（６）　人が輝く文化芸術活動の推進

⑱　文化芸術の「つくる･みる･ささえる」人の協働

主な取り組み	令和３年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和４年度の取組み
市民文化芸術活動の促進	○感染症対策を行いながら、安心して参加できる環境づくりを進め、市民に発表の機会を提供する事業を継続する ○「とかちジュニア文芸文章教室」を開催し読解力・表現力の向上を図る ○市民の文化芸術活動を支援するため、今後も学校施設の開放事業を行う	○感染状況に応じた国や道のイベント開催の指針等に従い、市民芸術祭や市民バレエ等の事業を実施 ○とかちジュニア文芸文章教室の開催 ○学校施設の開放事業の実施
文化活動団体の活動支援･指導者育成	○文化団体等の活動情報提供を継続するほか、文化活動を行う個人・団体の顕彰や支援を行う	○ホームページなどを活用し、文化団体の活動情報を提供し、文化活動功労賞による表彰（1 団体）
文化芸術の鑑賞機会の提供	○市民が良質な文化芸術を直接鑑賞する機会の提供に取り組む ○北海道立帯広美術館の特別企画展へ参画する	○音響コンサートや演劇、落語、バレエ等の公演の実施 ○「銀の匙 silverspoon 展」の開催

⑲　文化資源の継承・活用

主な取り組み	令和３年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和４年度の取組み
文化財等の調査・保存・活用	○文化財の適切な管理や、必要性に応じた史跡標示板の修繕を行う ○「八千代Ａ遺跡出土品」を適切に保存し積極的に活用するため、計画的に取り組みを進める	○文化財の管理及び史跡標示板の修繕、埋蔵文化財センターを中心に開発行為と埋蔵文化財保護の調整 ○「八千代Ａ遺跡出土品」を活用した学校用教材の作成、市内の文化財や史跡を紹介するリーフレットの制作・配布、ぶらり帯広・文化財めぐり及び十勝鉄道蒸気機関車 4 号及び客車コハ 23 号の公開
アイヌ伝統文化の調査・保存伝承・普及	○帯広カムイトウウポポ保存会伝承活動補助及び伝統的生活空間再生事業を継続し、アイヌ伝統文化の保存・伝承団体への支援に取り組む	○帯広カムイトウウポポ保存会伝承活動補助金による活動の補助、伝統的生活空間（イオル）再生事業として古式舞踊の披露や植物観察会等の講座を実施
市史資料収集・保存	○「年史報告書」の作成に取り組むとともに、令和４年度の帯広市開拓 140 年・市制施行 90 年の周年事業実施を通じて、資料収集事業に取り組む	○各種の周年事業に際し、これまで蓄積したデータを活用しながら企画を構成し、企画を通じて、新しい資料の発掘等の情報収集

⑳　文化施設の整備・管理運営

主な取り組み	令和３年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和４年度の取組み
計画的な施設整備の実施	○「公共施設マネジメント計画」に基づく施設の長寿命化や施設総量の適正化等を通し、必要とされる施設規模や機能維持に長期的な視点で取り組む	○帯広市民文化ホールにおける、館内の空調類のコントロールを担う中央監視装置の更新、停電時に非常電力の効率的な供給に重要な役割を果たす真空遮断器不足電圧継電器の改修 百年記念館において、施設の照明制御装置の改修更新工事、１号室の壁面タイルの撤去工事
適切な管理運営の推進	○適切な管理運営と利用者サービスの向上に取り組む	○指定管理者への支援の実施、指定管理者の節減努力による安定した施設運営

（７）　笑顔をつなげるスポーツ活動の推進

㉑　多様なスポーツ活動の促進

主な取り組み	令和３年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和４年度の取組み
スポーツの振興	○競技大会への選手等の派遣支援を通して、競技スポーツ活動を支援するほか、スポーツ賞、スポーツ奨励賞の実施や市民へのスポーツ観戦機会の提供により、スポーツ振興を進める	○大会派遣に係る経費の補助及びスポーツ賞等による団体、個人への表彰したほか、合宿・プロスポーツ等の誘致による市民へのスポーツ観戦機会の提供
スポーツ団体の支援・指導者人材の育成	○感染症対策等の正確かつ最新情報の提供を行うとともに、少年団へ安心して加入できる環境づくりや安全確保に関する指導者への研修を進める	○スポーツ少年団本部及びスポーツ協会を通じた指導者への研修等の支援
スケート競技の振興	○各種競技スポーツを普及し、競技者人口の拡大や競技力の向上に取り組むほか、各種大会等の開催支援する ○「ほっとドリームプロジェクト」や、明治北海道十勝オーバルの十勝管内小学校への授業開放を通して、スケート競技の普及促進に取り組む	○全国高等学校選抜スピードスケート競技会をはじめとする各種大会等の開催支援 ○「ほっとドリームプロジェクト」の実施、明治北海道十勝オーバルの十勝管内小学校への授業開放

㉒　スポーツによる活力のあるまちづくり

主な取り組み	令和３年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和４年度の取組み
地域スポーツの振興	○スポーツ教室の開催を通じて、より多くの市民がスポーツに親しみ、楽しむことのできる機会づくりに取り組む ○学校施設のスポーツ開放においては、市民へのスポーツ活動の場を提供するため、学校現場等への感染症の影響に配慮し取り組む	○スポーツフェスティバルの開催 ○利用者等に向けて感染予防に関する情報提供を行い、市民へのスポーツ活動を提供
スポーツ大会合宿等誘致	○スポーツ合宿の誘致については、各競技団体と連携を図り、感染症対策を講じながら受入体制の整備を進める	○レバンガ北海道（バスケットボール）の合宿受入れ ○クラブユースサッカー選手権（U-15）大会、プロ野球公式戦、フードバレーとかちマラソンの開催

㉓　スポーツ施設の整備・管理運営

主な取り組み	令和３年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和４年度の取組み
計画的な施設整備の実施	○「公共施設マネジメント計画」に基づく施設の長寿命化や施設総量の適正化等を通し、必要とされる施設規模や機能維持に長期的な視点で取り組む	○明治北海道十勝オーバル中央監視装置システム改修工事、帯広の森陸上競技場観客席躯体改修工事、帯広の森市民プールプールサイド床改修工事（２期）
適切な管理運営の推進	○多様化していく利用者ニーズに効果的・効率的に対応するため、指定管理者制度の導入を進める ○地域住民や団体の協力による管理運営に取り組む	○スポーツ施設における指定管理者制度の導入 ○パークゴルフ場における市民協働による管理運営の実施